

蔵王山安善寺

『お地藏さまに手を合わせ』

泰忍 弘



境内のお地藏様

間もなく秋のお彼岸の時期を迎えます。少し前までうだるような暑さでエアコンが休む間もなく稼働していたのが嘘のように、境内も秋の様相

を呈してきました。今回特集で誌面にもありますが、新たに参道入り口に六地藏を建立いたしました。もともと安善寺には建立年代は不明です

が、境内に大きなお地藏さまがあります。その他こちらも年代はわかりませんが本堂に「船玉地藏尊」という扁額があり、ここにもお地藏さまがおられます。

「船玉」とは「船霊」とも表記し、船が航海の安全を願う事で、恐らく江戸期に信濃川で舟運が栄えており、ここに由来するものと考えられます。その他安善寺だけでも多くのお地藏さまがあります。お地藏さまは様々なお名前や様々なお姿をされています。子育ての子安地藏や水子地藏、とげぬき地藏や、面白いのだと愚痴聞き地藏というお地藏さまもおられるそうです。日本昔ばなしにも「笠地藏」などたくさんのお地藏さまにまつわるお話があります。しかし仏教が誕生したインドでは、お地藏さまはほとんど信仰されてないそうです。

◆編集・発行人◆
近藤真弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・高橋 潔・高橋利春
屋代 健・飯泉隆史・太田匡哉
山内芳次・近藤龍弘・近藤マリ子
近藤久美子

印刷・株式会社印刷



安善寺ホームページ



安善寺Instagram

す。中国でもインドと同様にほとんど信仰されていないそうです。つまり、地藏信仰は日本特有の現象であるということですね。ちなみに、平安時代末期に成立したとみられる説話集『今昔物語集』の中には、お地藏さまにまつわる不思議な出来事ばかりを集めた「地藏菩薩靈驗記」が三十二話収録されています。それによりなんと千年前の日本では、すでにお地藏さまが信仰の対象であったと考えられます。お地藏さまは菩薩の一尊ですが、願いの数だけ姿や名前が変わるお地藏さまは、日本人にとって一番身近で親しみやすい菩薩さまかもしれません。さて安善寺の大きなお地藏さまの前には昔から「呪詞(おんか) 呪詞(か) 尾安摩(おんあま) 曳婆(えいば) 婆訶(ばか)」という地藏真言が書かれています。子供のころから私もよくお唱えして暗記して

いました。その頃は意味まで分かりませんでした。それが、それぞれ次のような意味になります。「オン」とは帰命を表し南無と同じく仏の教えを信じてそのまま表すこと。「カカカ」は呵(か) 呵(か) 大(だい) 笑(しょう) 大きな声で笑う意味でお地藏さまを表しています。「ビスンマイイ」は類いまれな尊いお方という意味で、地藏菩薩への賛歎の気持ちを表しています。最後の「ソワカ」は神聖なことばの最後につけて、その言葉の完成成就を願う気持ちを表します。要するに「すべての人々が信じて手を合わせ尊いお地藏さま どうか願いを叶えてください」というような意味でしょうか。



地藏真言

ご家族の皆さままでご覧下さい

【特集①】

古稀花火打ち上げ！

我々の会有志一同

我々の会会長 太田 裕



三年ぶりの長岡まつり大花火大会 タイトル「古稀青春 真っただ中！」

ブラスバンドの演奏で校歌が流れる。「打ち上げ開始です」のアナウンス後閃光が走った。私たちの花火が上がった瞬間です。銀色の花火が大きく左右に広がり、横並びに青い発色の花火が五〜六発同時に開く、ドドンパチパチとお決まりの音と色彩の幕開けであります。

二年前古稀を迎えた級友達と、長岡まつり大花火大会に古稀を祝って花火を上げようと仲間達に賛同を得て準備開始。十二年前に還暦の花火を上げて感動した思いを再度味わいたい一念でありました。賛同者一一五名余、募金はスターマイン以上の金額が集まりました。

た。よし、これで行けると意気込んだ矢先に、コロナ禍で花火が中止となり涙を呑んだのでした。それでは翌年に上げようとなりましたが、その翌年も中止と恨めしやコロナとなった訳です。三年ぶりの大花火大会、繋ぎの二年間に花火財団に二回寄付をしながら打上げ権利を確保していました。三年目でもコロナは沈静化しない。不安もあったが、市長の決断で花火を上げられる、「古稀花火プラス2」であるが、実行することが出来る。

還暦の時と違い花火師も指定出来なく、どんな花火になるか判りませんでした。結果は落ち着いた色彩と青色の発色が素晴らしい花火でありました。古稀を祝う同志一一五名の気持ちや夜空を輝かせた。信濃川の河川敷の一番前の団体席で皆で感動しました。

コロナ禍や宿泊が取れないなどの理由で現地で見れたの

は僅かでありましたが、TV放映もあったので各地から歓声がラインに入りました。

ここまで長い道のりではありましたが仲間も欠けず感動を共有出来たことを素直に喜んでいきます。すでに天空から眺めている同期の友もいます。きつと感動したに違いない。我々の会は長岡高校昭和四十四年卒の同期の会であり、還暦の時も寅年であり今年二年前遅れではありましたが、古稀祝も寅年になりました。

花火のタイトルは「古稀青春 真っただ中！」

まだまだ元気なお年頃であります。カンボジアに二十二年前に学校を二校建てた事業はまだ継続中であります！東京我々の会が運営しています。社会に貢献出来るようにと始めた事業も時が経ちました。仲間も老いてきました。どこかの企業や学校が後を継いでくれなにか模索中でもあります。米百俵の精神は脈々と生きています。

今回の花火に趣向を凝らすと時間がないところを仲間の方で叶えたのが、長高吹奏楽

部が同窓会の時披露した第一校歌の吹奏であります。長高には数々の校歌応援歌他ありますが、私たちの時代は第一校歌です。第二校歌は今の世代で歌われているようです。

第一校歌の出だしは

「我が中学の…」のと言うように旧制中学の名残が強く、やはり迫力が違います。これを長高のブラスバンド顧問の先生が編曲しブラスバンドで演奏しました。それを取材した新潟日報社が録音し許可を戴いて、花火の開始アナウンスに合わせて発表しました。市民全員が知っている訳ではないですが、一部卒業生には受けたと思っています。

コロナ禍であり大変な苦勞をした同期の仲間感謝申し上げますとともに、奮闘してくれたい同期の神林茂君、小熊正志君、中村克夫君、小林芳男夫妻、大原精一君、小林国二事務局には大変お世話になりました。紙面に掲載させて頂き、また紙面に御礼申し上げます。

皆、青春真っただ中！

後輩よ続け！

喜寿花火 始動開始(笑)

匆匆

【特集②】

参道入り口に六地藏建立

八月十二日に開眼法要を厳修

六地藏建立

この度、安善寺では参道入り口の門柱に向かって右側の道路沿いに新たに六地藏建立の計画を立てさせていただきました。

そこで寄進者を募るご案内を檀信徒皆様にお送りしたところ、早々に六名の方々から御寄進のお返事を賜り、お盆前に無事完成いたしました。完成後、八月十二日に開眼法要を厳修いたしました。六

地藏様は安善寺の新たな寺宝として境内正面に鎮座し、永代に亘り檀信徒皆様や地域の方々、そして安善寺をお守りいただきます。皆様もお寺にお越しの際は是非ご覧いただきお参りください。



参道に向かって右側に建立された六地藏



合掌お姿のお地藏様

御寄進者御芳名

黒田 勇治 様	高橋 利春 様
齋藤 春江 様	吉田 京子 様
高橋 潔 様	近藤 英夫 様

【お地藏様】

正式には地藏菩薩と言い菩薩の尊である。大地が全ての命を育む力を蔵するように、苦悩の人々を、その無限の大慈悲の心で包み込み、救う所から名付けられたとされる。

六地藏は仏教の六道輪廻の思想に基づき、六道のそれぞれを六種の地藏が救うとする説から生まれたものである。

像容は合掌のほか、蓮華、錫杖、香炉、幢、数珠、宝珠を持つとする。



開眼法要



シリーズ
旅に
行きたい!!
第5回

新潟は全国で3番目に温泉地の多い県 県民割を利用しての温泉地巡りもいかがですか

新潟ビーエス観光 飯泉 隆史

この記事を書いていて8月末日、旅行の雰囲気は変わってきました。相変わらずの感染者数でその数は世界でもトップというのですから凄いですね。海外への旅行も規制が緩和され、行ける国も増えてきました。が、その反面海外から日本への旅行は規制が厳しく諦める方が多いそうですが、3回ワクチン接種をしていれば日本に入国できることになりました。これは日本人も海外旅行に行きやすくなつたということです。大変ありがたいことです。しかし、「では海外へ行きましょう！」なんて声をかけてもこの状況ではまだ厳しいですね。しかし県民割も延長となり、旅行へ行きましようという国の方針には正直旅行業界は大変助かっているのです。

県民割は地域別にエリアが

分かれており、新潟県の方は山形、福島、群馬、富山、長野、石川、福井、岐阜、愛知、三重の旅館などで利用ができ、最大5千円の割引と2千円分の買い物クーポン券が付きます。条件もありますが、多くの方が利用されています。皆さんはご利用されましたか？ 県内でよく利用される旅館は当社では月岡温泉が多いですね。泉慶、華鳳など特に人気があります。月岡は美人の湯と言われのエメラルドグリーンの色をした温泉は硫黄の匂いがして私はとても大好きです。温泉街は今色々な店舗が新しくできて活気を取り戻しています。県外からも沢山のお客様がみえて、さすが全国のベスト3に選ばれる温泉地だと感じます。他にも県内でお勧めのお宿は下越方面というと鷹ノ巣温泉。吊り橋を渡っていく鷹ノ巣館などお

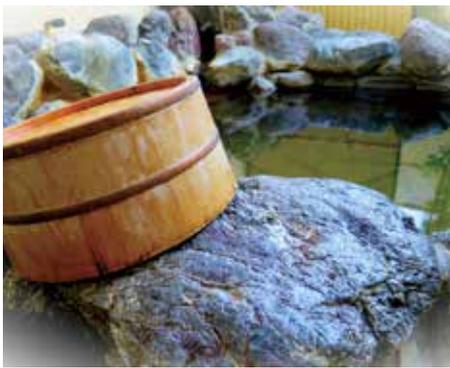
勧め。日本海を眺める宿は瀬波温泉大観荘などがいいですね。阿賀野川を眼下に望む麒麟山温泉福泉や咲花温泉。阿賀野市にあるラジウムが豊富な村杉温泉では長生館や環翠楼など。田上町にある湯田上温泉の小柳なども露天風呂が改装されてから、より一層景観を楽しむことができます。

中越地区では岩室温泉。よく利用させてもらうのがゆもとや、富士屋など。また高級な旅館としては国登録有形文化財になっている高島屋。部屋数が少なくゆつたりとした時間を過ごせるゆめやもいいですね。

少し離れて弥彦神社のすぐ隣の弥彦温泉みのや。おすすめは秋の紅葉の時期。歩いて数分で弥彦公園があり、夜はライトアップされた紅葉を楽しむことができます。また神社では菊祭りもありますね。

蓬平温泉はアルカリ性の温泉が肌を包み込む化粧水のようなお湯でとても癒されます。魚沼では大湯温泉。十日町方面では松之山温泉。大きな温泉街でもある湯沢温泉ではホテル双葉、ナスパニユーオータニなど大きな宿が多いです。秋は紅葉、冬はスキーと一年を通して楽しめる場所ですね。

上越地区は海外の注目も集めている赤倉温泉。スキーのメッカですね。赤倉観光ホテルは山の中腹にある高級ホテルで運が良ければ雲海を見ることができま。アライリゾートなどいいですね。あと糸魚川にある笹倉温泉龍雲荘。姫川温泉のホテル国富な



どもおすすすめです。新潟は全国で3番目に温泉地の多い県です。まだまだ良い宿は沢山あります。とても書ききれませんが、折角ですから県民割を利用して温泉地巡りもいかがでしょうか？

■旅のご相談・お申し込みは
新潟ビーエス観光まで
TEL 0258-34-4848



東堂和尚のつぶやき

自然の中にはおのずから「道」というものが

あまねく存在している

「晴耕雨読」という素晴らしい言葉がありますが、今年の夏は雨が降れば豪雨、晴れば猛暑。東北、北陸などでは「線状降水帯」により、氾濫、崖崩れ等によって家屋の倒壊、浸水、道路や橋の決壊、農作物等々、大変な被害を受けました。晴れば多くの地域で「熱中症警戒アラート」が発表され、過去最高気温を観測した市町村も多くあり、身体的にも精神的にも疲れきった人も大勢おられたと思います。

日本では暑さの表現が「極暑・酷暑」：最高気温が40度以上で、これ以上はないという暑さ・「猛暑」：最高気温が三十五度以上で猛烈な暑さ・「蒸暑」：蒸し暑いこと・「薄暑」：初夏のやや汗ばむような暑さ。他にも炎暑・激暑・盛暑・熱暑・厳暑・大暑等々の表現もあり、日本語の豊かさ、日本人の繊細な感覚、文化に感じています。

「異常気象」は、日本だけではなく、世界中の多くの国々が豪雨、その逆の水不足、酷暑、猛暑、森林災害の多発、干ばつによる穀物生産被害等々で人命被害も多く、大変な状態に見舞われております。近年の豪雨や猛暑、台風の激甚化などの異常気象は、温室効果ガス排出量の増加に伴う地球温暖化が原因ではないかとも言われており、気温が一度上がると水蒸気の量が七

倍に増えるという特性があります。今このままの世界のありようでは、ますます異常気象が進み、日本から四季がなくなり、世界においても毎年被害を受ける地域、人々が増えるばかりです。世界中の国々が経済優先の価値の転換で、環境優先、低炭素社会を目指し未来のために、地球に優しい自然を大切にしたい社会になるとを願うものです。



無門慧開禪師(一一八二-一二六〇)の『無門関』一九二六の「春有百花秋有月 夏有涼風冬有雪 若無閑事掛心头 便是人間好時節」(自然の中にはおのずから「道」というものがあまねく存在しているものであるから、もし余計なことに心を悩ますことがなければ、四季すべてが人々にとつて、素晴らしい季節になるものだ)と書かれております。

今このままの世界のありようでは、ますます異常気象が進み、日本から四季がなくなり、世界においても毎年被害を受ける地域、人々が増えるばかりです。世界中の国々が経済優先の価値の転換で、環境優先、低炭素社会を目指し未来のために、地球に優しい自然を大切にしたい社会になるとを願うものです。

安善寺よるず掲示板

『寺行事予定』

九月十八日 吒枳尼尊天秋季大祭典

秋季彼岸会

九月二十日 入り歎佛法要

二十三日 中日施佛法要

二十六日 明け歎佛法要

慈雲塔供養

*孟蘭盆会施食法要の経木塔婆をお持ちの方は彼岸中にお寺にお持ちください。

『切り株のお地藏様』

前号でご案内しました切り株のお地藏様ですが新たな場所(大きなお地藏様の隣)に移りました。



可愛らしいお地藏様が十八体並んで本堂の方を向き手を合わせています。お寺にお越しの際は是非ご覧ください。

『団体参拝旅行』

十月二十四日〜二十六日に予定しております「御誕生寺参拝と奈良寺院巡りの旅」は現状ご案内の通り開催する予定で、申し込みの締め切りは九月二十二日でございます。多くの方の御参加をお待ちしております。

安善寺 庭園型樹木葬 『翠緑の小径』

- お墓に樹木を植えてお葬式
- お墓に樹木を植えてお葬式
- お墓に樹木を植えてお葬式
- お墓に樹木を植えてお葬式
- お墓に樹木を植えてお葬式
- お墓に樹木を植えてお葬式

【お問合せ】株式会社 放光
フリーダイヤル 0120-811-112

安善寺 樹木葬墓地ご案内ページ
<https://anzenji-kyumokusou.com/>



仏さまのおすそわけ 数珠つなぎフードパントリー

～誰ひとりとり残されない世の中に！お寺を提供の場へ～

食材や日用品の提供にご協力ください！！



* 詳細はお寺にお尋ねください *

主催：長岡市仏教会青年部
協力：新潟県フードバンク連絡協議



今日も子供たちの 元気な声を聴き、優しい手に触れる この時間よ永遠に



この夏の暑さには参った。外へ出かけるどころか窓から差し込む日差しにさえあたりたくなくて、ひんやりとした廊下にゴロゴロ寝そべってばかりいた。夏休み中の子供たちはそんな私をピョンと飛び越えて外に遊びに行く毎日。勉強しなさいと追いかけて叫ぶ久美さんの声は全く届かず、結局登校する前日には毎年恒例のドタバタ劇が繰り広げられる。来年には中学

生になる真人君と高学年になる悠真君、私は今から心配でならない。

夏休み中ずっと怒っていた久美さんの声が静かになったのは子供たちを連れて里帰りした何日間かだけだった。兵庫県へ行った子供たちは勉強の代わりに世界遺産である姫路城に行き天守閣まで登ったそうだ。世界遺産だと説明してもその価値にピンとこない子供たちに久美さんは



暑かった夏も終わり、やっと静かな一日が

がっかり。子供たちにはお城よりも門前の土産物屋へいったことのほうが嬉しかったらしく、いい思い出になったそうだ。悠真君は立派な刀のおもちやを手に入れた長岡に帰ってきてからも勉強そっこのけで毎日磨い

ていた。

夏休みもあつという間に終わり、子供たちの楽しげで軽快な足音も学校へ行くようになると聞こえなくなってしまう。私はやつと静かな一日を過ごせるようになったが、ここ最近食欲はあるものの体の調子が思わしくなく、思うように動けない日々が続いている。そんな私に真人君は猫アレルギーになったにも関わらず優しく抱きしめてくれる。悠真君は私が粗相をしそうになったら素早くペットシートを準備してくれる。勉強なんてほどほどでいいじゃないか！優しい子に育つてくれればいいじゃないか！と久美さんに言いたくなる。

今日も床に寝そべりながら子供たちの元気な声を聴き、優しい手に触れる。この時間が永遠に続いてほしいニヤッ

編集 雑感

今年の夏は何か変な天候でした。今年だけではなく最近の天候は大きく変わってしまったように感じます。晴れば三十七度になり、雨が降ればバケツをひっくり返したような降り方。かつてはこんな極端な気候ではなかったように思います。最近の気候では何時・何処で災害が発生するか解りません。長岡市に防災マップがあります。洪水時の浸水の予測や避難場所等が表されています。私の住んでいる町内ではもしもの時に避難情報をどのようにして住民へ伝達するかを防災マップを参考に検討しています。信濃川が切れな

れば長岡は大丈夫と聞いていたが、そうとばかり言えない今日この頃です。その信濃川の河川敷で長岡まつり大花火大会が三年ぶりに開催されました。コロナ禍で大丈夫かなとの心配がありました。長岡市民だけでなく市外、県外の方も開催を待ち遠しく思っていた方が大勢おられました。私の友人・知り合いで開催されるのであれば是非観たいと市外、県外からも来てくれました。三年ぶりのフェニックス・ナイアガラ・三尺玉を代表として大輪が花開く大花火はやはり素晴らしい。長岡の夏はこれが無ければ夏じゃない。待ちに待ったことでその感動・感激がより大きくなりました。

お便り原稿用紙

皆様からの原稿をお待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。

FAX 0258-32-2870

〈原稿送付先〉メール info@anzenji-nagaoka.com

HP にも申込フォームがあります

この季刊誌「蔵王山・安善寺」は第九十九号です。これまでお檀家の皆様からも多くの投稿を頂き有難うございました。年四回の発行で実に二十五年間も続いてきたことになりました。ということは、次号は第百号ということになります。その記念すべき第百号をどのような編集にしようかと編集委員会で検討を始めたところです。四半世紀も継続出来たこの季刊誌をお檀家の皆様と一緒に喜びを分かちあえる第百号にしたいと思います。

(高橋 潔)

第一〇〇号は令和五年一月一日(日)発刊予定です